



はとっぽだより

2026年1月5日

社会福祉法人 はとのさと福祉会

神戸大学はとっぽ保育所

(078)382-6984

HP <http://hatonosato.or.jp>

2026年が始まりました。今年は「丙午」の年にあたり60年のサイクルで巡ってくる年と言われています。「馬」のように躍動感に満ち溢れ前進できる1年になるよう、皆さんと共に明るく前向きに過ごしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

		曜日	1月の行事
7	水	誕生日会	
13	火	身体測定(さくら・さくらんぼグループ)	
14	水	お話の会	阪神淡路大震災を教訓に訓練します。
16	金	避難訓練(シェイクアウト訓練) 身体測定(ちゅうりっぷグループ)	
23	金	身体測定(ひまわり・あじさい・ゆり・ばら)	
24	土	はとっぽマルシェ	
27	火	みせあいっこ(1回目)※お互いの劇やごっこ遊びを見合いっこします 避難訓練(火災訓練)	
28	水	わらべうた(さくら・さくらんぼグループ)	

ちょこっと日記

冬の季節になり、園庭に行くにはたくさんの身支度をしなくちゃいけません。まだまだ自由に進まないちゅうりっぷさんにとっては大変な工程です。「〇〇ちゃんも！！」「△△くんも」と子どもたちは大騒ぎしながら、大人を頼りに集まってきます。そこへ1人の救世主(ひまわりさん)！その瞬間大人は必要なくなり、ひまわりさんに1点集中！「〇〇～♪(ひまわりさんの名前呼ぶちゅうりっぷさん)」「はいはい、待ってよ」と声掛けしますが、僕も私もと押し寄せてきます。とうとう「あの～、僕は1人しかいないんだけど～～」と頭を抱えるひまわりさん。ご機嫌なちゅうりっぷさんでした。

つぶやき

保育士「今日ってね13度しか(気温)上がらないんだよ！」
こども：「え!? ジャム한다고？」

子どもたちの姿をご紹介

すいか組のみんなと山登り

春から交流を深めてきた“太田共同保育園との交流会”12月9日で4回目となり、回を重ねるごとに関係も深まってきました。

今回は須磨区にある勝福寺というお寺に行き山登りをしました。前日までは「どんな山かな?」「登れるかな?」と言っていましたが当日鬼から届いた手紙に「一年生になるお前たちなら登れるかな?」の挑戦状に「鬼に負けない!」「登れるもん!」と気合十分の様子。途中、手すりもなくやっと一人が通れる山道もありましたが、「鬼なんて怖くない」を合言葉に登っていました。やっとのことで着いた頂上では「街が見える」「雲がおいしそう」と大はしゃぎでした。下山していく途中にまたまた鬼からの手紙がありました。そこには、「お前たちよく頑張ったな」と鬼からの言葉とお土産のおやつがありました。しっかり歩いた達成感とおいしいおやつに笑顔いっぱいの子どもたちでした。次にすいか組さんと会えるのは2月!また、一緒に遊ぼうね。

ちよっぴり野菜が苦手なゆり組さん (調理室より)

三色食品群のお話をしました。赤色・緑色・黄色のグループ1つだけの食品ばかり食べていると少ししか元気にならないけれど、3つのグループの食品で力を合わせることで、みんなの体は元気いっぱいになるよと伝えました。その後、「今日のお野菜食べられたよ!おいしかった」と照れくさそうに、そして自信に満ち溢れた顔で教えてくれました。



ご協力ありがとうございました

11月には国会へ署名を提出し、12月15日は県へ70364筆（内はとぽっぽ450筆）の署名を提出しました。乳児の保育料無償化を実施している自治体（加西市・養父市）や乳児の保育料が1番高い自治体（宝塚市92,000円）など、同じ兵庫県でも自治体によって違うことがわかりました。どの子にも平等に保育を受ける権利があります。今後も福祉が充実できるようにご協力お願いします。

食材に触れ、みんなでクッキング(調理室より)

11月はちゅうりっぷグループ、ばら組で「白菜の酢味噌和え」を作りました。ちゅうりっぷさんは初めてのクッキング!生の白菜や春菊をそっと指先でツンツンして触ってもらいました。大人が目の前で茹でた野菜や調味料を入れて、子どもたちに揉んでもらいました。友だちの様子を見ながら、自分の番が回ってくるのを楽しみにしている様子もありました。その後、自分たちがつくった「白菜の酢味噌和え」を盛り付けてもらうと「これもみもみした」と言いながら食べていました。

また同じメニュー日には、「もみもみしたね」と話しながら食べていました。この経験を繋げられるようにまた、クッキングをしていきたいです。